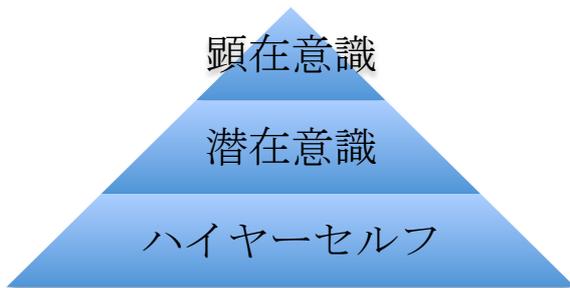


Australian Bush Flower Essence

★オーストラリアンブッシュフラワーエッセンスの基礎知識

- 創立まで
- アボリジニとフラワーエッセンス
- ブッシュフラワーエッセンスの仕組み



- エッセンスの作り方
- 他の医療との併用

バッチフラワーレメディーの一つ

バッチ博士

バッチ博士(1886~1936)は医者であり、病理学者であり、同時に免疫学や細菌学の専門家でした。彼は、正統派医療(西洋医学)の治癒の結果に満足したことがなく、真の治療とはどこか別にあると考えていました。研究所を離れ、英国の田舎に旅をして、癒しの効果のある植物を探しました。彼は、直感的に38種類の野に咲く花や木を選び出し、バッチフラワーレメディーとしての体系と理論を整えました。使うものはきわめてシンプルに純水と太陽の光、そして新鮮な花、そしてきれいなガラスのボールだけでした。

ハーモニー

バッチ博士は、ヒポクラテス、パラセルスス、ハーネマンのように、真の健康とは、魂と精神と感情がうまく調和しあったところに成り立つものだと考えました。調和のないところではネガティブな感情や思考、ムードが見られます。調和は、直接的に身体の疾患を治すわけではありませんが、病気の原因となるストレスや感情を安定させることができます。また、バッチフラワーレメディーは、西洋医学やホメオパシーの治療を邪魔するものではなく、一緒に使うことができます。

レスキューレメディー

レスキューレメディーは、5種類の花(Cherry plum, Rock Rose, Impatiens, Clematis, Star of Bethlehem)を混合したものです。緊急的な事態の時に使います。例えば、緊張、不安、恐怖、鬱、悲しみ、ショックなど。いつでも、あなた自身が「助けて欲しい」そう思うときに摂ればよいのです。また、緊急の事態では、落ち着いてホメオパシーのレメディーを選ぶことは難しいです、そのときにとりあえず、レスキューレメディーを摂ることをお勧めします。ストレスを和らげ、気持ちを落ち着かせてくれます。試験の前、発表会の前、面接の前などの緊張をほぐすこともできます。また、軽い事故などにあった時のショック状態や、口論の後、夫婦喧嘩の後にも気持ちを落ち着かせるのに役に立ちます。

服用の仕方

緊急の場面では、5分ごとに摂り、段々と間隔を開けていきます。30分ごとに、1時間ごとに、必要がないと感じるまで続けます。液体の場合は、5滴をグラスにいれ、少しずつ飲みます。飲むごとに口のなかで1分くらい含んでから飲み込みます。

また、液体4滴を直接、舌の下に落とす、またはピル状のものを1粒、舌の下で溶かしても大丈夫です。

他には、手首や耳の後ろに液体を刷り込むことでも効果があると言われています。